

恋人の聖地 八千穂高原PR 「ミスキャンパス」の2人 写真撮影



八千穂高原PR用の写真のためポーズをとる柴田さん（右）と小林さん

佐久穂

南佐久郡佐久穂町に11日間で2日間、横浜国大と青山学院大の昨年のミスキャンパス2人が訪れ、観光PR用の写真撮影をした。同町の八千穂

高原はNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）から「恋人の聖地」に認定されており、多くの若者に訪れてほしいと、町と同支援センターが初めて企画。2人は町内の観光名所を巡ったり、特産品を食べたりしながら写真のモデルを務めた。

横浜国大は小林理奈さん（21）、青山学院大は柴田愛実さん（21）でともに4年生。八

千穂高原に50万本あるというシラカバ林を歩き「こんなにたくさんさんのシラカバは見たことがない」と驚いていた。飲食店では、町内産のリンゴや信州サーモンを使った料理を食べる場面を撮影した。

小林さんは「電車で来た。車を持たない若者も気軽に来られる点が魅力」。柴田さんは「信州サーモンは魚臭さがないので、若い女性にも好まれると思う」と話していた。

恋人の聖地は全国に115カ所、県内には10カ所ある。佐久穂町は、今回撮影した写真を観光パンフレットやホームページなどに使う予定だ。